

京大一日体験の報告

平成25年9月14日(土)、京都大学大学院工学研究科(宇治キャンパス)および工学部学術メディアセンター(吉田キャンパス)に出かけました。講義や施設見学を通して科学に関する興味関心や、理系進学への意欲を高めるなどを目指しての取り組みです。参加者は1年生14人、2年生15人、3年生1人でした。具体的な内容は以下の通りです。

〈宇治キャンパス〉

- 1) 京都大学と大学院工学研究科の紹介 (松尾二郎先生)
- 2) 模擬授業 (松尾二郎先生)
- 3) 研究室の見学(電子顕微鏡等、最先端の機器で見る「ナノ」の世界を体験)

〈吉田キャンパス〉

- 4) 工学部学術メディアセンターの紹介 (喜多一先生)
- 5) 模擬授業 (中島浩先生)
- 6) スーパーコンピューターの見学

多くの生徒に科学技術に対する関心の高まり、志望の学部・学科への勉強の意欲の向上などが見られたことが、事後のアンケートでうかがわれました。

以下は生徒の感想の一部です。

- ・オープンキャンパスなどでは体験できない貴重な経験ができて良かった。スーパーコンピューターもテレビでしか見たことがないものを実際に見ることができたり、電子顕微鏡なども初めて見て驚いた。来てよかった。
- ・先生方の講義はとても難しかったけれど、最先端に行く研究という印象を受けた。今回の体験を機に、自分も先生方と日本を担う最先端の研究をする一員になればいいと思った。
- ・宇治キャンパスでは、電子顕微鏡ですごく小さい世界を観察させてもらいました。ミクロとかナノとかの世界を想像するのが難しかった。吉田キャンパスでは、スーパーコンピューターの仕組みやそのすごさを知ることができた。まだはっきりとはわからなかったが、先生方の説明で何となく理解はできました。





